

2021年4月22日

## 「DEFENDER」が「ワールド・カー・デザイン・オブ・ザ・イヤー 2021」を受賞 ランドローバーとしては3度目の快挙を達成



- 「DEFENDER」が、名誉ある「ワールド・カー・デザイン・オブ・ザ・イヤー 2021」を受賞
- 個性的なデザイン、あらゆる地形を走破するオフロード走破能力、オンロードでの優れたダイナミクス、21世紀にふさわしい実用性とコネクティビティを審査員が高く評価
- 「DEFENDER」のボディタイプは、「110」と「90」があり、パワートレインはマイルド・ハイブリッド・テクノロジー（MHEV）を採用した最新の 3.0 リッター直列 6 気筒 INGENIUM ディーゼル・エンジンと、2.0 リッター直列 4 気筒 INGENIUM ガソリン・エンジンの 2 種類をラインアップ
- 今回の受賞により、「DEFENDER」の世界的な賞の獲得数を 53 に更新。さらに、かつてないほど好調な売れ行きを記録
- 「DEFENDER」の 3 ドアモデル「DEFENDER 90(ナインティ)」が 4 月に日本上陸し、順次デリバリー開始。
- 「DEFENDER」詳細についてはこちら：<https://www.landrover.co.jp/Defender>

2021年4月20日、英国ホイットリー発：ランドローバーは、「DEFENDER」が、「ワールド・カー・アワード」において、「ワールド・カー・デザイン・オブ・ザ・イヤー 2021」に選出されたことを発表しました。ランドローバーがこの名誉ある賞を受賞したのは、2012年の「RANGE ROVER EVOQUE」、2018年の「RANGE ROVER VELAR」に続く3回目となります。

新型「DEFENDER」は、70年以上にわたってランドローバーが培ってきたパイオニア精神を忠実に守りながら、21世紀仕様のアドベンチャー（冒険）を再定義しています。その名前、形、性能のすべてがアイコンックなもので、「90」と「110」のボディスタイル、4種類のアクセサリパックが選択でき、お客様がパーソナライズし、自らの世界を広げることが可能です。

「ワールド・カー・デザイン・オブ・ザ・イヤー」は、過去1年間に発表されたクルマの中から、最高水準の技術革新とデザインで一線を画し、最も優れたモデルに与えられる賞です。

ジャガー・ランドローバーのチーフ・クリエイティブ・オフィサーである、プロフェッサー・ジェリー・マクガバン OBE は次のようにコメントしています。



「過去からの影響を受けながらもそれらに縛られることなく、自由な発想で『DEFENDER』をデザインしました。そしてこのデザインが『ワールド・カー・デザイン・オブ・ザ・イヤー』に選ばれたことを大

変嬉しく思います。私たちのビジョンは、誰もが認める『DEFENDER』の DNA とオフロード走破能力はそのままに、エンジニアリング、テクノロジー、デザインの限界をさらに押し上げ 21 世紀の『DEFENDER』をつくることでした。その結果、お客様の感情に訴えかける、非常に魅力的なクルマが誕生したのです。」

今年は、他の 4 つの部門賞の候補車も含むすべてのクルマが「ワールド・カー・デザイン・オブ・ザ・イヤー」の対象となり、その中から 7 名の自動車デザインの専門家によるレビューを経て、最終選考リストが選ばれ、93 名の世界のジャーナリストで構成された審査委員によって最終投票が行われました。

なお、自動車デザインの専門家として、ドイツからゲルノット・ブラハト氏とゲルト・ヒルデブランド氏、英国からイアン・カラム氏、フランスからパトリック・ル・ケマン氏、米国からトム・マタノ氏とビクター・ナシフ氏、さらに日本から中村史郎氏といった権威あるメンバーが審査を行いました。

「DEFENDER」は、ひと目で「DEFENDER」と分かる特徴的なシルエットを継承しながら、フロントおよびリアのオーバーハングを最小限に抑えることで、アプローチアングルとデパーチャーアングルを大きく確保しています。「DEFENDER」ならではのデザイン要素を再構築し、ルーフ後方に取り付け「アルパインライト」ウィンドウ、横開きのリア・テールゲート、リア部分に外付けスペアタイヤを配置し、オリジナル「DEFENDER」を想起させるデザインに仕上げました。

インテリアにおいてもオリジナル「DEFENDER」の個性が受け継がれ、フレームやコンポーネントの固定具が見える形でその堅牢さを強調し、シンプルさと実用性を追求しています。「DEFENDER 110」は 5 シートと 7 シートがあり、また、「DEFENDER 90」はファミリー向けのコンパクト・ハッチバックと同等のサイズで、5 シート仕様です。

「DEFENDER」が持つ幅広い性能は、オフロードでの堅牢性とオンロードでの快適性の基準を引き上げます。ランドローバー・ブランド史上、最も剛性の高いボディ構造であり、新たに極限環境向けに開発した「D7x」アーキテクチャーを採用した軽量アルミニウムのモノコック構造を土台に、先進的なオールテレイン技術と最先端のパートレインを搭載し、進化し続けています。研ぎ澄まされたハンドリングは、あらゆる地形を走破し、ファーストクラスのように快適な長距離運転を実現します。また、ユーロ NCAP 安全性評価では最高の 5 つ星を獲得しています。

「DEFENDER」は、先進の INGENIUM ガソリン・エンジンとクリーンなディーゼル・エンジンをラインアップしており、あらゆる環境において高いパワー、コントロール性能、効率性が発揮します。

「DEFENDER」は発売以来、Top Gear の「カー・オブ・ザ・イヤー2020」、Motortrend の「SUV・オブ・ザ・イヤー2021」、Autocar の「Best SUV 2020」など、50 を超える国際的なアワードを受賞しています。

以上

※本プレスリリースはジャガー・ランドローバーが 2021 年 4 月 20 日(現地時間)に発表したプレスリリースの抄訳です。



## エディターズ・ノート

### 「DEFENDER」について

「DEFENDER」は、ランドローバーのアイコン的なモデルを 21 世紀仕様に刷新し、高い走破能力と耐久性を有する最新の 4x4DEFENDER モデルです。ひと目で「DEFENDER」とわかるシルエットを継承しながら、ルーフ後方に取り付けた「アルパインライト」ウィンドウ、横開きのリア・テールゲート、外付けスペアタイヤなどは、オリジナルの特徴を新たな形で取り入れ、「DEFENDER」の魅力を上げています。新たに極限環境向けに開発した「D7x」アーキテクチャーを採用した軽量アルミニウムのモノコック構造はランドローバー史上最も頑丈なボディ構造を誇ります。ボディタイプは、「110」と「90」があり、現在販売中の 2021 年モデルでは、新たに「110」に、最高出力 221kW/300PS、最大トルク 650Nm を発揮する最新の 3.0 リッター直列 6 気筒 INGENIUM ディーゼル・エンジン (MHEV) を搭載した、最上級グレードの「X」と、タフさやダイナミックさを強調する内外装を採用した「X-Dynamic」を追加しています。

### ランドローバーについて

ランドローバーは 1948 年以來、そのモデル・シリーズ全体にわたり、本格的な 4x4 を継続して製造しています。「DEFENDER」、「DISCOVERY」、「DISCOVERY SPORT」、「RANGE ROVER」、「RANGE ROVER SPORT」、「RANGE ROVER VELAR」、「RANGE ROVER EVOQUE」は、それぞれが世界の SUV カテゴリーを代表するモデルです。現在、これらのモデルの 80% は輸出され、世界 100 か国以上で販売されています。

### Land Rover PR social channels:

- Land Rover ウェブサイト: <http://www.landrover.co.jp>
- Facebook: <https://www.facebook.com/LandRoverJapan>
- Twitter: <https://twitter.com/LandRoverJPN>; @LandRoverJPN
- Instagram: <https://www.instagram.com/landroverjpn>
- YouTube: <https://www.youtube.com/user/landroverchanneljp>

### ◆お問い合わせ先◆

ランドローバーコール(フリーダイヤル)0120-18-5568 (9:00~18:00、土日祝日を除く)